

JICA の開発教育支援

グローバル化が進む現代では、地球規模で多様な課題を抱えています。

貧困、環境、人権などの課題を抱える地球が、より持続可能な方向へシフトするにはどうしたらいいのでしょうか。

持続可能な開発のための教育(ESD)にも挙げられているように、その解決に向けての鍵の1つは「教育」にあると考えられています。

さらに、2002年4月に「総合的な学習の時間」が本格導入され、人類共通の課題を主体的に捉えるための開発教育・国際教育への関心はますます高まるばかりです。

JICA 大阪では、開発途上国における技術協力事業、資金協力事業で培った経験、人材やネットワークを活用し、国際協力出前講座、JICA 大阪訪問、教師海外研修、開発教育指導者研修等の開発教育支援事業を関西地域で広く実施し、地域での開発教育・国際教育を支援しています。

教師海外研修とは・・・

1. 研修目的

本研修は、開発途上国で国際協力の現場や現地你的生活実態を視察し、その国が直面している開発問題に触れ、現地の人たちとの交流を通して、生活や文化の多様性を体感できる内容の研修です。

国際協力に関心があり、授業やクラブ活動などで、開発教育・国際教育を実践している小学校・中学校・高等学校・特別支援学校などの教員を、JICA が協力を行っている開発途上国に、約10日間派遣しています。

帰国後は、海外研修で得た経験を、参加した先生自身が自分の教室で子ども達に伝えています。

さらに、その経験をそれぞれの地域において、広く発信していただき、開発教育・国際教育の実践者として活躍されています。

2. 派遣実績

年度	派遣国	派遣時期	派遣人数
平成 16 年度	マレーシア	平成 16 年 8 月 3 日～12 日	10 名
	フィジー	平成 16 年 8 月 2 日～10 日	12 名
平成 17 年度	マレーシア	平成 17 年 8 月 4 日～12 日	8 名
	サモア	平成 17 年 8 月 3 日～12 日	7 名
平成 18 年度	マレーシア	平成 18 年 8 月 2 日～12 日	7 名
	サモア	平成 18 年 8 月 3 日～12 日	8 名
平成 19 年度	マレーシア	平成 19 年 8 月 12 日～23 日	16 名
平成 20 年度	マレーシア	平成 20 年 8 月 4 日～14 日	12 名
平成 21 年度	タンザニア	平成 21 年 8 月 2 日～12 日	8 名

3. 教師海外研修の流れ



※ ()内の日程は平成 21 年度タンザニア コースの日程です。
※ 平成 22 年度以降の 日程は HP をご確認ください。

4. 事前研修、事後研修内容

① 第一次事前研修

- 1) 日時：平成 21 年 6 月 27 日（土）10:30～17:30
- 2) 場所：JICA 大阪 会議室 1
- 3) 目的：
 - (1) 教師海外研修の意義目的について理解する
 - (2) JICA 事業、開発教育支援事業に関して理解し、自身の教育活動と連携させる
 - (3) 派遣国（タンザニア）における開発問題、国際協力事業について理解する
 - (4) 開発教育の概論を理解し、参加型ワークショップ等の手法を修得する
- 4) プログラム内容

時間	内容	講師
10:30～11:10	オリエンテーション あいさつ 参加者自己紹介 教師海外研修趣旨説明	JICA 大阪 市民参加協力課 課長 奥邨彰一
11:15～12:00	JICA 事業概要説明 JICA 事業について 開発教育支援事業について	JICA 大阪 市民参加協力課 塩谷 索
12:00～13:00	昼食・休憩	
13:00～17:30	ワークショップ 開発教育概論 参加型ワークショップ ・ アイスブレイキング ・ フォトランゲージ ・ モノランゲージ等 JAPANBOX について 青年海外協力隊体験談	(株)マイチケット 荒川共生氏 青年海外協力隊帰国 隊員 桑野貴行氏

② 第二次事前研修

- 1) 日時：平成 21 年 7 月 11 日（土）10：30～12 日（日）16:00
- 2) 場所：JICA 大阪 会議室 1
- 3) 目的：
 - (1) JICA 事業を理解した上で、海外研修において、自身が伝えたい「テーマ」と「実践授業案」を設定する
 - (2) 校種、教科に関わらず、参加教員間の連携を持ち、充実した海外研修に向けてのネットワークを構築する
- 4) プログラム内容

【第 1 日目：7 月 11 日】

時間	内容	講師
10:30～12:30	学校現場における実践授業事例紹介	京都市立堀川高等学校 教諭 大槻一彦氏
12:30～13:30	昼食、休憩	
13:30～14:30	渡航手続き説明	(株)マイチケット
14:30～16:30	昨年度参加教員による報告 昨年度の研修内容報告 実践授業報告 JICA との連携実践報告	昨年度参加教員
16:30～18:00	派遣国事情 アフリカ／タンザニアについて アフリカにおける日本の国際協力 タンザニアを題材にした授業案のヒント	摂南大学 外国語学部 准教授 浅野英一氏
18:00～19:00	夕食、休憩	
19:30～21:00	グループワーク 日程説明(7/11 時点での最新情報を説明) 班分け、役割分担 JAPANBOX の作成 研修実践案の作成	

【第2日目：7月12日】

時間	内容	講師
9:30～10:00	目覚ましワークショップ	
10:00～13:00	ワークショップ① 開発問題にかかるワークショップ	(株)マイチケット 荒川共生氏
13:00～14:00	昼食、休憩	
14:00～16:00	ワークショップ② グループワーク (教材を作る視点、方向性について) 研修実践案および各自のテーマ設定考 案 全体での共有	(株)マイチケット 荒川共生氏

② 事後研修

- 1) 日時：平成21年8月29日（土）10:30～16:00
- 2) 場所：JICA 大阪 会議室1
- 3) 目的：
 - (1) 海外研修で得た教材、資料を教員間で共有する
 - (2) 海外経験を実際に自分の授業にて実践している学校教員の報告を参考とする
 - (3) 海外研修での経験を学校現場に還元するための、経験の整理、授業実践に向けてのカリキュラム作り
- 4) プログラム内容

時間	内容	講師
10:30～12:00	資料整理・教材共有	(株)マイチケット 荒川共生氏
12:00～13:00	昼食・休憩	
13:00～14:30	開発教育・国際教育の学校現場での活用法 ～教師海外研修参加をきっかけにした 授業展開～	姫路市立飾磨西中学校 岩井 哲也氏
13:00～16:00	ワークショップ 海外研修における経験の整理、授業実践に向 けてのカリキュラム作り	(株)マイチケット 荒川共生氏